



「海事都市・今治」の海事人材育成

令和 8 年 2 月 20 日





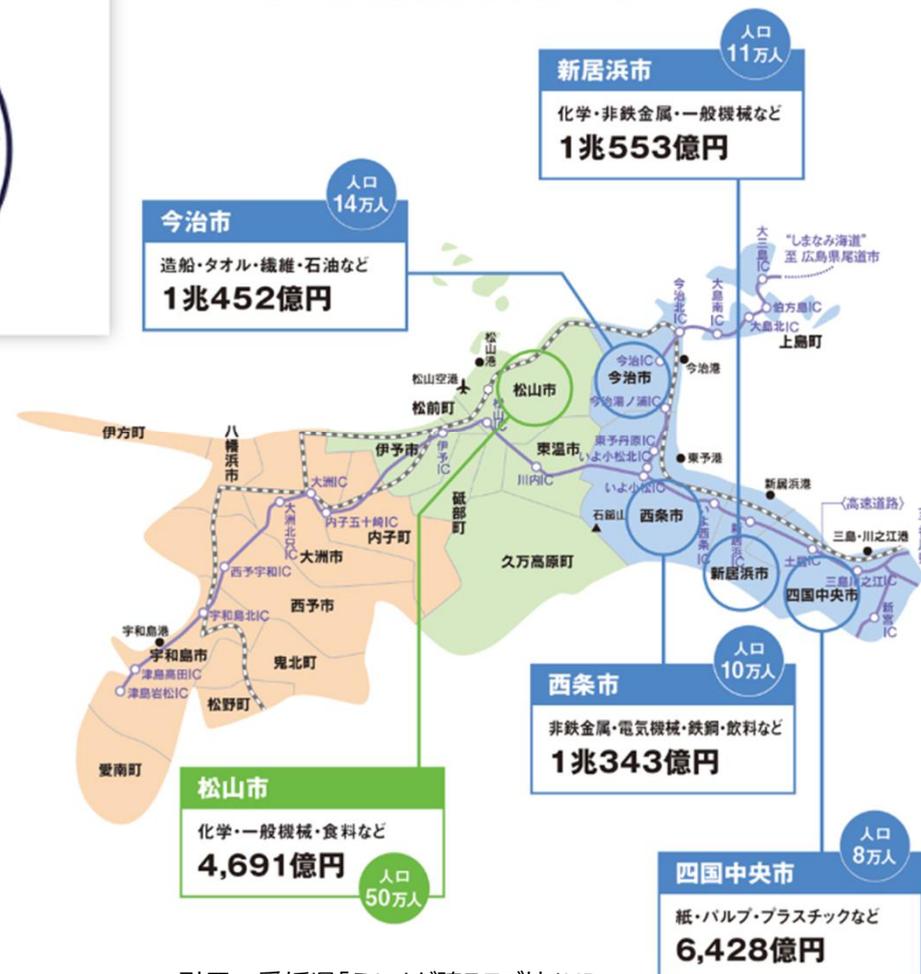
産業

製造品出荷額

愛媛県内 2位 (新居浜市に次ぐ)

愛媛県内 主要都市の 製造品出荷額等

(2022年経済構造実態調査)



人口

人口：145,441人
 男：69,837人
 女：75,604人
 世帯：76,451世帯
 (令和8年1月末)

引用：愛媛県「えひめが誇るスゴ技」HP
 愛媛ものづくり産業紹介より

平成の大合併（平成17年）により、海運業、造船業、舶用工業のほか、**教育機関**や金融機関などが一つの地域に集積する、世界でも有数の海事都市となった。

海運業

●外航海運業

今治市内の外航船主：約70社
（所有船数：約1,100隻）

国内の外航船主が保有する隻数の約30%にあたる船舶を今治船主が保有している。

「今治オーナー」と呼ばれ世界4大船主のひとつとして数えられている。

●内航海運業

今治市は内航海運業も盛んで、内航海運事業者が約150社所在している。所有隻数は約230隻となっている。



造船業

●造船業

今治市内の造船所数：14事業所
〃 年間建造隻数：約80隻

今治市内の造船所では、日本全体の年間建造隻数の約20%にあたる船舶が建造されている。

さらに、今治市に本社を置いている造船会社のグループ全体でみると、日本全体の約60%の船舶が建造されている。

舶用工業

●舶用工業

船舶に必要な、電気設備、クレーン、空調、昇降機、通信機器など船を造る際に必要な資機材を提供する舶用メーカーが市内に多く所在しており、高品質で多種多様な製品を世界のマーケットに送り出している。

教育機関

●海事人材を育成する教育機関

➤今治地域造船技術センター
（平成17年設置）

造船業、舶用工業に必要な技能の向上を図るため、若手技能者に対する研修を地域海事関連企業が共同で行っている。

➤愛媛県立今治工業高校
機械造船科（平成28年設置）

造船業に必要な技能を習得することができ、多くの卒業生が即戦力として地元海事産業に就職している。

➤国立波方海上技術短期大学校
（昭和43年設置）

多くの内航船員を輩出している。

金融機関

検査機関

シップファイナンスを手掛ける銀行や海上保険会社、日本海事協会支部などの検査機関も集積している。

幼少期から小中学校における海事産業との接点づくり

- ・2年に1度開催される「国際海事展バリシップ※」において、ビジネスマンだけでなく、市民が参加できる一般公開を実施
※令和7年出展社数：384社（24の国と地域から）参加者数（延べ）：43,374人
- ・進水式や工場の見学、出前講座の実施
- ・海事産業を含む地場産業を体系的に学習する「ふるさとキャリア教育」を実施



高校における海事人材（技能者）の育成：愛媛県立今治工業高校

- ・愛媛県立今治工業高校に機械造船科を設置
- ・地元海事関連企業の技能者が講師となって実践的技能を習得する「匠の技教室」やインターンシップ、市内海事産業の現場体験会など企業と連携して実施
- ・海上自転車競走などを通じて、県外の造船系工業高校をはじめ、県内工業とのネットワークを強化



社会人（技能者）のスキル向上：今治地域造船技術センター

- ・今治地域の造船所、船用メーカーが共同で若手社員への研修を実施
- ・新入社員への初級研修や技能向上のための専門技能研修を実施



海事都市今治における新たな海事人材育成（技術者・高度技術者）

新燃料船や自律運航船など次世代船の開発、生成 A I 等デジタル技術の進展に伴い、今後は、**技術者育成にも注力し**、愛媛大学今治サテライトを拠点に、次世代船やデジタル、ロボットなどの新技術に対応できる**高度技術者育成**を行っていく。その中で、大学院の設置や社会人向けのリスキング・リカレント教育の実施、全学部生が海事産業を題材に、法学、商学、経済学、グローバルマーケット、ファイナンスなど広く知識を学べる教育プログラムも実施していく。さらに、幼少期から大学までシームレスな海事教育を実施することにより、**海事教育の裾野拡大**を図る。

DX・GX人材の育成

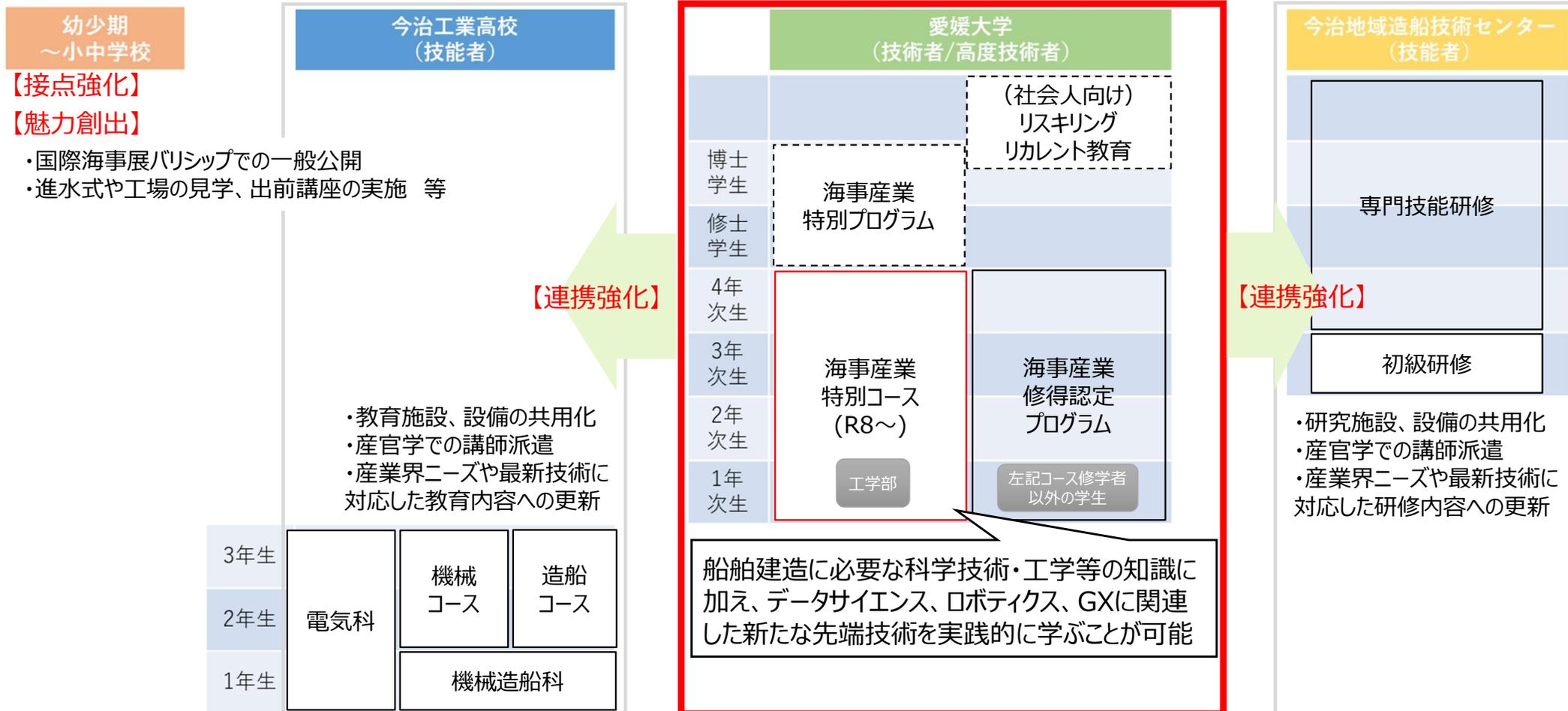
研究拠点化と大学院レベルの高度教育

技能者と技術者をつなぐ地域一体型育成

海事人材

【海事教育の裾野拡大】・各世代を繋ぐシームレス海事教育

海事産業界



今後、愛媛大学を起点に、愛媛県立今治工業高校や今治地域造船技術センターとの**連携を強化**し、海事都市今治で「技能者」「技術者」「高度技術者」の育成を可能とする、**新たな海事人材育成サイクルの構築**を目指す。